

## 見え方の違いの先にあるもの

医療福祉ジャーナリズム分野 修士課程1年 河野礼子  
リハビリ型デイサービス リハサロン祖師谷

福場将太さま

ご講義をありがとうございました。

優しいトーンで温かく包み込むような声に引き込まれながら、ご講義中何度も目が合いドキドキしていました。

持病を受入れたときから、大きく転換されたお話を伺い、現在取り組んでいる認知症ケアと重ね、看護師としてサポートする時の立ち位置などを改めて考えさせられました。私自身も23歳当時交通事故で長期入院や歩行困難であった時期には、人生を見失った経験があります。自分自身の状態を受け入れることは、とても難しく喪失感に気持ちをおかず、新たな個性として活かすことができれば、同じ悩みや環境にある方々の代弁者として社会を変革する活力にも通じると今は感じ、実践しています。

家族介護者として認知症改善検証のためデイサービスを開業しましたが、松沢病院の長期入院から在宅復帰された方の支援にも試行錯誤の毎日です。専業主婦であった当時は受入れに不安な日々でしたが、シンプルにご本人を知りたいという思いを伝え信頼を重ねたことで、公安の監視組織の一員としての認定は頂かずにおります、高齢ご家族の負担も大きく、主治医からは施設で問題行動があれば警察へ通報することを勧められました。在宅で安定して過ごして頂くために、ご本人が必要を感じない訪問看護で服薬管理をして頂きたく、事前相談し施設内で面談機会を重ね導入へ繋げました。医師や家族が入院を希望しても、ご本人は在宅生活をご希望なので、できる限り継続できるよう奮闘の日々です。ケアをする人や環境によって状態が変化する認知症と統合失調症の共通する課題について本大学院で学んだ生活支援記録法 F-SOAIIP（エフソアイピー）記録を活用しケア介入の改善を目指し検証中です。ケアをする人の見え方の違いによる、先入観によるケアと根拠あるケアの差を記録により可視化し、回復に繋がるケアマニュアル化することでケア環境の改善を目指しています。

将太さまは、声色から多くの情報を感じ取られるからでしょうか、そのため、相手を不快にさせないよう意識されているのでしょうか？自然体から醸し出される穏やかで柔らかな語りに気持ちを穏やかに整えて頂き、癒されお話に引き込まれました。

優しい想像力に加え、当事者の意見を聞くことで、理解が深まり新たな面が見えることを学びました。小説も拝読させていただきます。「変質者かもしれません」という新たな一面も見えるのではと、楽しみにしています。

ギタレレの持参により、弾き語りのリクエストを不躰に失礼致しましたが、生歌での一体感あるとても感動的な時間を楽しませて頂きました。誠にありがとうございました。

今後ご指導の程、よろしくお願い致します。